

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年)

## 2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア分野(1/5)

	評価区分 (*1)	総合評価 (ⅠとⅡの平均値にⅢを加味)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 現地調査時の指摘事項及び対応状況 等 (*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
さがみロボット産業特区(神奈川県)	準	A 5.0	B 4.4  進捗度 ・実証実験等の実施件数  160%  ・県の企業誘致施策におけるロボット関連企業の事業所建設計画認定件数  140%  等	B 4.3  規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化  等  財政支援等 ・生活支援ロボットの実証実験等の実施  地域独自の取組 ・「インベスト神奈川」等による企業誘致の推進	+1.00	<p>・総合特区計画認定後一年目であるが、<u>多岐に亘る規制緩和措置や企業誘致促進施策を活用し、実証実験(※1)件数・企業立地件数の双方とも年度目標を大幅に超える実績を上げている。特に実証実験件数は目標値の1.5倍に当たる90件を自主目標(※2)として置いている点は高く評価できる。</u></p> <p>・今後の目標達成に向けても、実証実験の前段階である研究開発の推進、県外の実証実験の呼び込み、特区自体の周知徹底など、更なる取組みの充実に繋がる仕組み作りに言及しており、高く評価できる。</p> <p>※1:脳卒中や怪我などの後遺症で手指、足が麻痺し、拘縮した患者が一人で装着→動作支援→取り外しといった一連のリハビリ運動を完結するための生活支援ロボットである「パワーアシストハンド」等の開発のための実証実験が行われている。</p> <p>※2:特区計画においては、実証実験等の実施件数の目標は、5年間で60件とされている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。  
(注)「総合評価」は5.0を上限とする。

\*2)「Ⅲ」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。